

寅さんシリーズ

わたくし、生まれも育ちも東京葛飾柴又です。姓は車、名は寅次郎、人呼んでフリーテンの寅と発します。皆様ともども、ネオン、ジャズ高鳴る大東京に仮の住居まかりあります。不思議な縁持ちまして、たつた一人の妹の為に、粉骨砕身バイ売りに励もうと思っております。西に行きましても、東に行きましても、とかく土地土地のおあ兄さん、おあ姐さんに、ご厄介かけがちな若僧でございます。以後見苦しき面体お見知りおかれまして、恐惶万端引き立つて宜しくお頼申します」

【フリーテンの寅」としてテキ屋衆相手に切ったアイツキ仁義の口上。】

名セリフの数々

「それを言っちゃあおしまいよ」

【寅さんが怒った時に言う最後のセリフ。おいちやんとケンカした時に「出てってくれ!」と言われるとこのセリフが出る。】

「結構毛だらけ猫灰だらけ、お尻の

回りはクソだらけだ!」

【頭にくるとまずこのセリフが出る。】

「そこが渡世人のつれえところよ」

【旅に出る決心をした時に誰かに止められそうになるとこのセリフが出る。特に寒くなる前の季節にこのセリフを言う場合が多い。】

暖かい味噌汁さえありや充分よ。あとはお新香、海苔、タラコ一腹、辛子の利いた納豆。これにはね、生ねぎ細かく刻んでたつぷり入れてくれよ。あとは塩昆布に生卵でも添えてくれりやあ何にも要らねえな」

【一番最後に起きてきて朝飯のおかずの色々注文をつける寅さん。おいちやんとおばちゃんは口を開けてこのセリフを聞いている。】

「そんな気の利いたもんじゃないやござんせん。あてもねえ、ただの旅人ですよ」

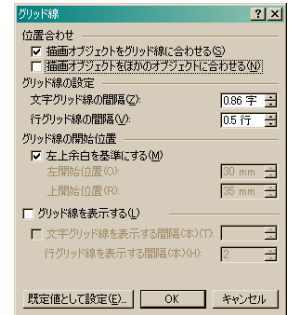
【旅先でマドンナに「観光旅行ですか?」と聞かれて答える寅次郎。】

「ああ、いい女だなあ、と思う。その次には、話がしたいなあ、と思う。その次には、もうちよつと長くそばに居たいなあ、と思う。そのうちこらう、なんか気分が、柔らかーくなつてさ、ああもう、この人を幸せにしたいなあ、と思う。この人の為だつたら、命なんかいらぬ、もう俺死んじやってもいい、そう思う。それが愛つてもんじゃないかい?」

車 櫻(ぐるまさくら)なんて書きますてえとね、誰も名前だと思わないんですよ。ほう、車 櫻、カルテラなんてのはあるのかい?、なんてね。いやこの櫻って字が結構面白うございましてね、木へんに貝二つでしょ、それに女ですから『二階の女は気にかかる』と、こう読めるんですよ、面白いでしょ? しかし漢字つてのは面白うございすねえ。しかばねに水と書いて 屎、つまりシヨンベンだ。しかばねに米と書いて 屎、つまりクソですよ。で、あつしが麥だなあと思うのはね、しかばねに比二つ書いてこれがなんと 屁なんだよ 屁。どうして比が 屁か、つまりオナラはピーツて洒落かなあつて思つて、ハッハハ! 本人大爆笑」

寅さんシリーズ④

(解説) 余白: 上下左右 20mm



1. 「図形の調整」「グリッド線」をクリックして、「グリッド線に合わせる」にチェックを入れる
2. ワードアートでタイトルを作る。(江戸勘亭流、白)
オートシェイプの楕円でバックをつける。(白と黒のグラデーション、線なし)
3. 縦書きテキストボックスを描き、塗りつぶしを淡い灰色、線なし、影をつける。
文字を入力する。(MS 明朝、10.5pt)
4. 横書きテキストボックスを描き、影をつける。「名セリフ～」を入力する。(江戸勘亭流 24pt)
5. 横書きテキストボックスを描き、線を 25% 灰色にして影をつける。
文字は 1 行目 (MS 明朝 14pt) 2 行目以降 (10.5pt)
6. 5 のテキストボックスを下に 2 個コピーして、文字を修正する。
7. 3 のテキストボックスを左にコピーして、少し幅を広げ、文字を修正する。
8. 横書きテキストボックスを描き、線なしにする。文字を入力する。
9. 縦書きテキストボックスを描き、線を 25% 灰色にして影をつける。文字を入力する。その左に横書きテキストボックスを描いて文字を入力する。

